



チームの課題を職員みんなで考えよう！ 「研修内容アンケート」

無料

よくある施設様の課題



- ☒ トップダウンで研修内容を決めると、やらされ感が出る
- ☒ 「園の課題」を職員一人ひとりに考えてほしい
- ☒ 日々の業務に追われて、意見を整理する時間がない

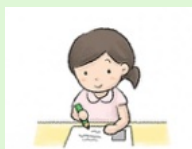
これらの課題は、「研修内容アンケート」で解決できます！



★3つの特長

- ボトムアップで研修内容を考えることができる
- 「チームの課題」を整理できる職員様向けアンケート用紙
- アンケート記入後、アンケート集計結果が届く(無料)

研修内容アンケートの活用方法



手順1. アンケート配布
全職員様にアンケートを行なっていただきます。



手順2. アンケート発送
記入済みのアンケート用紙を、弊社に郵送またはメール添付でお送りください。



手順3. アンケート集計結果
メールまたは郵送でお届けします。職員様にアンケート集計結果を配布してください。

研修内容アンケート



以下の質問に対して、あなたが現場で課題に感じていることを記入してください。私たちは、その内容を参考にして研修内容を作成します。現場の皆様の想いがこもった研修を考えていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

Q1、所属している施設名、勤務年数

園名（ ） 、氏名（ ） 、勤務年数（ ） 年

Q2、職種は何ですか？※役職がある方は、役職名もご記入ください

（ ）保育士 （ ）栄養士or管理栄養士 （ ）看護師 その他()
※役職名（ ）

Q3、現在のあなたの思いに近いものに○を付けてください。(複数回答可)

- () 子どもに向き合う時間がなかったり、保育についてじっくりと考えることができていない。
- () 保育の振り返りを行い、次に生かされている。
- () 行事に追われていると感じることがある。
- () 日頃の保育の延長線上に、行事の内容を考えていきたいと思う。
- () 園全体で子ども主体の保育を目指したい。
- () 子どもの声を引き出す「声かけスキル」に自信がないと感じることがある。
- () 子どもの非認知能力に対するより具体的なアプローチを学びたい。
※非認知能力... 目標を決める、意欲的に取り組む、コミュニケーション力 等の内面スキル
- () 2年後、自分の保育に関して大まかな目標がある。例 5歳児の担任をしたい、0歳児の学年リーダーになりたい等
- () 保育の質が下がってきていると感じる。
- () 職員同士の情報共有や申し送りがうまくいっていない時がある。
- () 上司、先輩から指示を受けることはあるが、何のためにその指示を行うのか明確にしてほしい。
- () 会議の中で意見が分かれた場合、発言の強い職員の意見に引っ張られることがある。
- () 職員間で、新入社員に対する『教育スキル（OJTスキル）』にばらつきがあると感じる。
- () 自分自身も、後輩の育成方法（褒め方、伸ばし方）を学びたいと考えている。
- () チームメンバーをまとめる方法（話し合いの進め方、情報の共有方法、チームワークづくり）を学びたいと考えている。

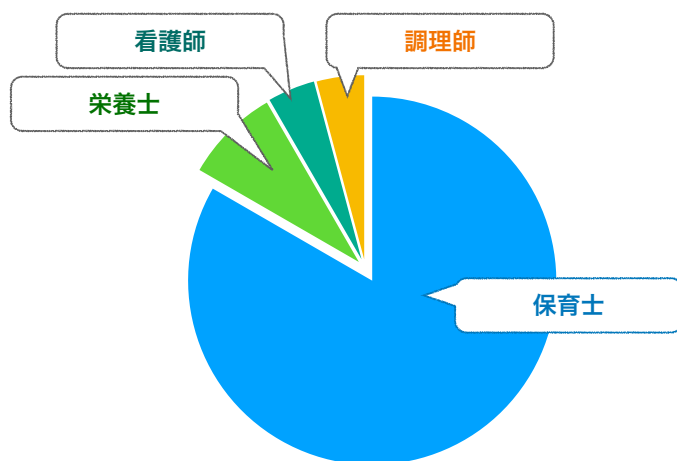


Q4、研修に反映させてほしい内容、園で課題となっていること、自身の保育で目標や課題になっていることを自由に書いてください。スペースが足りない場合は、裏面もお使いください。

ご協力ありがとうございました。記入後は、本アンケート用紙を園長に提出してください。

「研修内容アンケート」の集計結果

認定こども園A



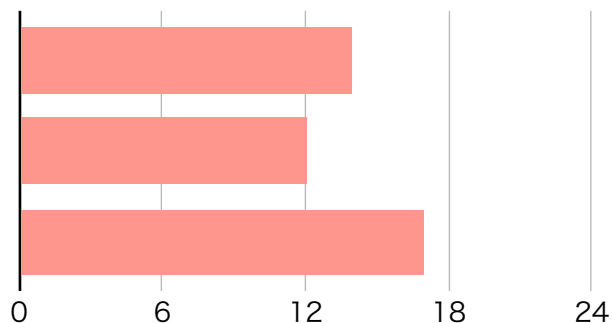
保育士	20
栄養士	2
看護師	1
調理師	1
有効回答数	24

① 保育の現状とチームとして目指したいもの

保育の振り返りを行い、次に生かされている。

日頃の保育の延長線上に、行事の内容を考えていきたいと思う。

園全体で子ども主体の保育を目指したい。

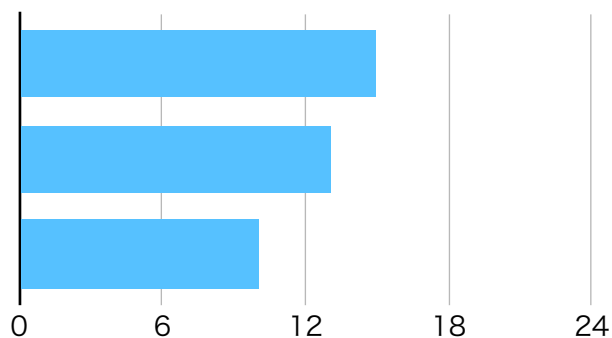


✓「日頃の保育の延長線上に、行事の内容を考えていきたいと思う。」「園全体で子ども主体の保育を目指したい。」は、特に勤続年数4～6年目の保育士(65%)が考えています。

子どもに向き合う時間がなかったり、保育についてじっくりと考えることができていない。

行事に追われていると感じることがある。

保育の質が下がってきていると感じる。



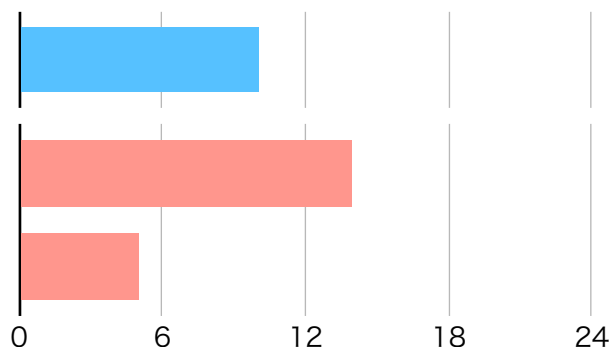
✓「行事に追われていると感じることがある。」は、勤続年数4～5年目の保育士(75%)が課題に感じています。
✓「保育の質が下がってきていると感じる。」は、勤続年数3～6の保育士(65%)が捉えています。

② 職員個人のスキルと成長ビジョン

子どもの声を引き出す「声かけスキル」に自信がないと感じることがある。

子どもの非認知能力に対するより具体的なアプローチを学びたい。

2年後、自分の保育に関して大まかな目標がある。



✓ 勤続年数4～6年目の保育士(65%)が声かけスキルに課題に感じています。

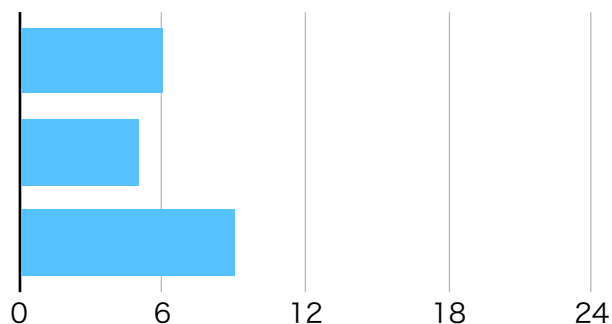
✓ 勤続年数7～18年目の保育士(73%)が「非認知能力に対するより具体的なアプローチを学びたい。」と考えています。

③ 職員同士や上司とのコミュニケーション

職員同士の情報共有や申し送りがうまくいっていない時がある。

上司、先輩から指示を受けることはあるが、何のためにその指示を行うのか明確にしてほしい。

会議の中で意見が分かれた場合、発言の強い職員の意見に引っ張られることがある。

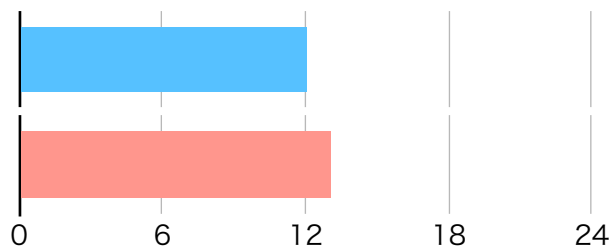


✓ 上司とのコミュニケーションにくらべて、**職員同士の情報共有**や**会議の運営方法**に課題を感じている職員が多かったです。

④ OJTについて

新人育成の中で、人の伸ばし方を知りたい。

新人育成の具体的な方法を知りたい。



✓ 教育スキルの難しさを勤続4年目～16年まで幅広い年数の職員が感じています。教える側、教わる側ともに課題と捉え、方法を知りたいと感じています。